

表現のブレーキ

鳥取県鳥取大学附属中学校 3年 まちだ 蘭乃



あるタレントの方が自ら命を絶ってしまった。その方はいつも笑顔で周りの人を楽しませていたので、なぜかと驚き、心におもりがのしかかった。自殺の主な原因は、SNSでの誹謗中傷だったらしい。

テレビやインターネットでは、多くの情報が飛び交っている。今日ではSNSは当たり前のように使われている。自分の思いがリアルタイムで発信でき、世界中の人とつながりが持てる魅力的なアイテムだ。

しかし、最近はSNS上での誹謗中傷のニュースをよく耳にするようになり、社会問題となっている。誹謗中傷をする人は絶えない。SNS上での投稿は人を楽しませるもの、不愉快にさせるものなど多岐にわたる。簡単に投稿できるため、誹謗中傷を無意識に行ってしまう場合や自分の意見を強く押し出し過ぎてしまう場合などがあるだろう。投稿は使い方を間違えると、相手の人生を壊してしまう程の大きく、恐ろしい力を持っている。簡単な気持ちで取り扱っていいものではない。もしも、不特定多数の人の誹謗中傷のターゲットに自分になってしまったらと考えると、とてつもない恐怖に身を包まれるだろう。

それらの問題を対策するために私たちにできることは何なのか。それは、安易な気持ちで投稿をしないことだ。顔も名前もどこにいるのかわからないからこそ、自分自身が責任のとれる投稿にすべきだと思う。また、法律で処罰されることも知らなければならない。自分の心を守るために、真実を見極め、周りに流されてはいけない。多くの人がSNSを利用しているが、誹謗中傷を行っているのは極一部の人である。さらに、何かあった場合には周りに相談し、何か対処をしなくてはならない。また、SNSを見ないという選択もある。これらのことを頭の片隅に置いておく必要があると思う。

私は、スマートフォンのような機械は持っていないが、所持したときには心を支配されないように人と多くの関わりを持ち、誰かに感化され、自分も良い影響を受けていきたいと思う。また、人と向き合ったときに喜怒哀楽のような感情を共有し、お互いに注意できるような力を育んでいきたい。そのために、周りの人々を大切にし、丁寧に接したいと思う。